

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	超緊急帝王切開術システムの有用性及びシミュレーショントレーニングの効果の検討		
1. 研究の目的と方法	超緊急帝王切開（赤ちゃんが危険な状態が改善する見込みがなく、可能な限り迅速に手術室へ搬送する必要のある緊急帝王切開術）を施行するための多部署連携システムの改善を図っていくために、これまでに当院で超緊急帝王切開術をご経験された方々の診療情報を振り返ることで、現行システムの継続的な評価を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030 年 6 月 30 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2016 年 4 月 1 日～2025 年 5 月 31 日の間に附属病院で超緊急帝王切開術をご経験された 18 歳以上の方々。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	施術時の妊婦さんの年齢、経妊経産数、妊娠週数、既往歴、合併症、超緊急帝王切開術の発令事由、発令場所、発令から手術室及び児娩出までの所要時間、帝王切開時の出血量、帝王切開時に生じた有害事象、出生児の状態(出生体重、Apgar score (1 分値/5 分値、場合により 10 分値)、臍帯動脈 pH、その後の治療)、産前産後の採血データ、培養検査データ、画像所見	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学産婦人科学講座
		氏名	佐藤 泰輔
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学産婦人科学講座 伊藤 由紀	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2025 年 9 月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学産婦人科学講座 研究責任者：助教 佐藤 泰輔（さとう たいすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3521） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。